

テーマ	地域の営農を守るための効果的な獣害対策について
-----	-------------------------

1. 解決したい課題の内容について

現在農業分野の全国的な課題として後継者不足が挙げられる。

宇佐市においても、特に中山間地域の多くの地区から効果的な獣害対策をしなければ、今後耕作者の後継者の見通しも立たないと意見が出ている。

中山間地域の営農を守っていくにあたり効果的な獣害対策は喫緊の課題となっている。

また、現行の防護柵による獣害対策について課題が以下の3点あげられており、対策を実施できる地区できない地区があり低コストで労力の負担が少ない包括的な獣害対策が求められている。

防護柵による獣害対策の課題

- ① 直営施工の場合、費用負担の補助金はあるが設置は地区で実施となっており高齢化に伴い設置に係る労働力を確保できない。
- ② 請負施工の場合、地元負担発生するため、財源がない地区では実施ができない。
- ③ 獣害の被害の多い地区で防護柵の設置による対策を行うことにより、今まで獣害があまりなかった隣接する地区に獣害が発生するようになる。隣接する地区が防護柵等の対策を実施しなければ、防護柵のないところから獣が侵入してしまうため効果が見込めない。(広域的な施工が必要)

2. 実現したい目標について

中山間地域の農作物の獣害を減らし、反収が上がることにより収益を確保できる環境を整備。

収益を確保し経営が安定することにより、後継者問題の解消を目指す。

3. 必要とする技術について

労力の負担が少なく低コストである技術。

また、獣害対策は部分的な対策では効果が見込めないため、大規模な範囲での対策が可能であるもの。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

特になし

5. 協力者、実証実験の場所等について

中山間地域

6. 課題に関連する事業のホームページ URL

鳥獣被害防止総合対策交付金について 令和6年度版

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/yosan/attach/pdf/yosan-158.pdf>